

空と、人と、しあわせのかたち

いなべSDGs推進パートナー No.30

▶ 日本航空株式会社 中部支社

社会が抱える課題に向き合いながら、JALグループは人々や物が自由に行き交う「心はずむ社会・未来」の実現を目指します。私たちが思い描く、サステナブルでウェルビーイングな未来の社会像をつくっていきます。



未来のために今できることを。
すてる油で空を飛ぼう。



お客様のすてる油で。飛行機が空を飛ぶ未来。

しかもそれは、CO2排出量の削減につながります。

「JALにもできることがあるかもしれない。」そんな思いで始まった、すてる油を集めること。

ゴミ箱ではなくリサイクルBOXへ。

油をすてる場所を変えることで、持続可能な航空燃料「SAF」が生まれ、お客様の想いととも、未来の空へと羽ばたきます。

JALグループが培ってきたノウハウやネットワークを活用し、観光振興や地域産業支援を通じて、地域へのモノや人の流れを促進しています。



いなべ市との取り組み

いなべ市内の小中学校で「ふるさと応援隊」が講演

2021年度から、客室乗務員が生徒向けにお仕事紹介、マナー、コミュニケーションなどの講演を行っています。プログラムの一環として、SDGsを学ぶ講演も実施し、身近な「いなべ市の取り組み」や「JALの取り組み」を紹介しながら、子どもたちがSDGsを自分ごととして考えるきっかけを提供しています。

折り紙ヒコーキ教室 × INABE SDGs 4T PROJECT

折り紙ヒコーキ協会の技術指導を受け、認定の指導資格を持つ社員が、飛行機の仕組みを取り入れた折り方を教えるワークショップ。2023年に「INABE SDGs 4T PROJECT」として、市内の子どもたちにヒコーキづくりとともにJALの取り組みを知る機会を提供しました。

Soaring Together